

横浜横須賀道路 逗子 I C 災害復旧に関する検討委員会

第 2 回 検討委員会 開催結果概要

1. 調査結果と崩落原因の推定について

○地質調査等の結果とのり面崩落の原因について、以下のことを確認した。

- ・地質調査等の結果から、当該箇所に分布している『三浦層群逗子層』の地質は泥岩砂岩の互層で切土面に対して流れ盤構造となっており、古い地すべり面が確認された。これは、現地で確認された平滑面と概ね一致した。
- ・今回の崩落の原因は、著しい連続的な豪雨^{※1}によって地すべり土塊内の地下水位が上昇し、土塊の一部が不安定となって崩落したものと推定されること

※1：今回観測された連続雨量（1日積算雨量）は198.5mmと過去10年間で最も多く、特に数日間の累計雨量を見ると著しく多い状況であった（3日間降水量が既往の最大値に対し1.4倍）。

2. 応急復旧による逗子 I C の暫定運用について

○応急復旧により逗子 I C の暫定運用を行うにあたり以下のことを確認した。

- ・滑落崖直上の市道部に抑止工を施工し、安全を確保すること
- ・車線を運用するために必要な崩落土砂と不安定と思われる土塊を除去すること
- ・車線とのり面の間に防護工を設置して一般車の安全を確保するとともに、動態観測を継続すること

3. 本復旧対策の方針について

○本復旧対策の方針について以下のことを確認した。

- ・市道部の復旧にあたっては安定的な構造とするとともに、地下水位の上昇により不安定化しないよう、排水措置を行うこと
- ・のり面内に水が供給されないようのり面保護構造物を施すとともに、下層に水みちが存在する可能性も考慮して排水措置を行うこと
- ・本復旧の工事期間中においても動態観測を実施しながら慎重に施工すること

以 上

【参考】検討委員会開催状況

